

ボッシュと APCOA、ドイツ全土の駐車場で自動バレーパーキング技術を提供 ドライバーレスパーキングをハンブルグからミュンヘンにまで 拡張

2023 年 1 月 23 日

PI 11608 XC jck/af

- ▶ ボッシュはドイツ全土のさらに 15 カ所の APCOA 駐車場でドライバーレスパーキングを利用可能に
- ▶ 世界中の数百の駐車場でボッシュシステムの段階的かつ大規模な市場投入を計画
- ▶ ボッシュはまず駐車場 1 カ所あたり 4 台分の駐車スペースへインフラ技術を導入
- ▶ APCOA FLOW プラットフォームにより、チケットレスの非接触型キャッシュレス駐車が可能に

シュトゥットガルト(ドイツ) – ボッシュと APCOA は、[シュトゥットガルト空港の P6 駐車場において自動バレーパーキングの商用利用が承認されたことを受けて](#)、この技術をドイツ国内のさらに 15 カ所の駐車場に拡大して導入することを計画しています。インフラ協調の自動化された SAE レベル 4 のドライバーレスパーキングシステムをハンブルグからミュンヘンまで拡張する工事は、2023 年に開始される予定です。第一段階として、ボッシュと APCOA は駐車場 1 カ所あたり最大 4 台分の駐車スペースを自動バレーパーキングに対応させる予定です。「自動バレーパーキング機能を搭載した車両の増加が予想されることから、このような駐車スペースの数を拡大していきます。電気自動車の充電スポットで培った経験から、インフラ整備が技術に追いつくことがいかに重要であるかを理解しています。現在、私たちはパートナーの APCOA と共に、自動バレーパーキングにも適用できるよう取り組んでいます」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役メンバー兼モビリティソリューション事業セクター統括部門長のマルクス・ハインは述べています。ボッシュのシステムはモジュラー式であり、今後数年間にわたり、インフラ技術を備えた駐車スペースの数を、15 カ所それぞれの駐車場で、最大 200 台分にまで迅速に拡張することができます。

自動バレーパーキングの世界市場導入を開始

今回ボッシュと APCOA が締結した基本契約は、世界市場への導入に向けた第一歩です。今後数年間で世界中の数百の駐車場に自動バレーパーキングを設置することを目標としています。「ドイツは始まりに過ぎません。対応する法律が可決されれば、間もなく世界中の他の国でも自動バレーパーキングを段階的に展開できるようになると期待しています」と、ボッシュのクロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部でソフトウェアとサービスのグローバルセールスを率い、APCOA とのパートナーシップを担当するクラウディア・バースレは述べています。ドイツは自動バレーパーキングなどのシステムの枠組みを作るレベル 4 の法律を既に可決した数少ない国のひとつです。フランスなどの他の国も追随する構えです。

「自動バレーパーキングソリューションにより、駐車場を利用するお客様にまったく新しいレベルの利便性を提供できます。この機能は、空港、コンサートホール、イベント会場、見本市会場など、時間に制約のある場所で特に役立ちます。言い換えれば、シュトゥットガルト空港への導入はほんの始まりに過ぎません」と、APCOA PARKING グループの取締役会メンバーで最高商務責任者の Frank van der Sant 氏は述べています。自動バレーパーキングは、ハンブルグ、ベルリン、ケルン、フランクフルト、ミュンヘンといった都市の一部の駐車場で、間もなく利用できるようになります。さらに欧州の他の駐車場も後に続く予定です。

インフラと車両技術のスマートな相互作用

自動バレーパーキングは今後の主流になります。時間のかかる駐車スペース探し、煩わしい操作、へこみや傷のリスクの時代は終わりました。ドライバーは駐車場入口近くの引き渡しゾーンに車両を止め、アプリを使用して高度に自動化されたドライバーレスの駐車サービスを開始するだけです。その基礎となるのがボッシュのステレオカメラです。空いている駐車スペースを特定するだけでなく、走行通路とその周囲をモニターし、通路上にある障害物や人を正確に検知します。予期せぬ障害物が検知されると、車両はブレーキをかけて安全に完全停止します。通路上に障害物がなくなると、そのまま走行を続けます。このために、カメラによって生成されるすべてのデータがエッジコンピュータに送られます。スマートなアルゴリズムにより必要な運転操作が伝達され、狭いスロープのフロア間を移動する場合でも、ドライバーレス駐車が可能になります。このソリューションの際立った特徴は、駐車場に設置されたスマートテクノロジーにより、車両側に必要な技術的要件が最小限に抑えられ、自動化されたドライバーレスバレーパーキングサービスがあらゆる車両クラスに対応することです。

本サービスは APCOA の FLOW プラットフォームにより、ドライバーレスというだけでなく、チケットレスかつキャッシュレスを実現します。ドライバーはすでにこのアプリを使って、駐車スペースの予約から、便利なナンバープレート認識による駐車場への非接触入場、完全自動支払いと請求、非接触退出に至るまで、駐車負担を軽減しています。システムがお客様の車両またはナンバープレートを認識するとゲートが自動的に開くため、駐車券の発行や券売機への移動が不要になります。APCOA は欧州 13 各国、12,000 カ所以上で約 180 万台分の駐車スペースを運営しています。ドライバーレスで高度な自動バレーパーキングサービスの利用率が高まることで、将来は同じ広さに最大 20% も多くの車両が収容可能となります。さらに、ドライバーレスの駐車は狭く、遠く離れた、人気のない駐車区域に特に適しています。

世界で初めて承認された高度な自動パーキングシステム (SAE レベル 4)

自動バレーパーキングは飛躍的に発展してきました。2017 年半ば、ポツシュとメルセデス・ベンツはシュトゥットガルトのメルセデス・ベンツ博物館の駐車場におけるパイロットプロジェクトの一環として、このソリューションを一般に公開しました。そのわずか 2 年後、両社は駐車場で見られる実際の交通状況でセーフティドライバーを乗せずに特定の車両を使用した自動バレーパーキングを運用するための世界初の特別許可を取得しました。2020 年末には、ポツシュ、メルセデス・ベンツ、および APCOA は、シュトゥットガルト空港で高度な自動ドライバーレスパーキングサービスを利用可能にし、レベル 4 システムの最初の商用利用に取り組みました。シュトゥットガルト空港の P6 駐車場の自動バレーパーキングは、このほど、ドイツで商用利用の正式承認を取得したことで、世界初の完全に自動化されたドライバーレスの (SAE レベル 4) 駐車機能となりました。この機能は、まずドイツのシュトゥットガルト空港の P6 駐車場においてインテリジェントパークパイロット (INTELLIGENT PARK PILOT) 搭載のメルセデス・ベンツ特定仕様の S クラスおよび EQS で利用できます。

報道用画像: #dd7ff7a7、#a250f49f、#3271230

報道関係対応窓口:

ポツシュ:

Jennifer Kallweit

電話: +49 711 811 42239

Twitter: @JCKallweit

APCOA PARKING グループ:

Sebastian Merkle

電話: +49 711 94791-652

sebastian.merkle@apcoa.eu

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2021年の売上高は453億ユーロで、グループ総売上高の58%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全で持続可能なかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle（車車間）およびVehicle-to-Infrastructure（路車間）通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2021年の従業員数は約40万2,600人（2021年12月31日現在）、売上高は787億ユーロ（約10.2兆円*）を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、持続可能な、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI（人工知能）を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界128の拠点で約7万6,100人の従業員が研究開発に、そのうち約3.8万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2021年の為替平均レート、1ユーロ=129.8855円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英語）

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター（ドイツ語）

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト（日本語）

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター（日本語）

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック（日本語）

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube（日本語）